

国際島嶼教育研究センター 第173回研究会の開催について

国際島嶼教育研究センター研究会を下記のとおり開催いたします。皆様方、多数のご来場を心よりお待ちしております。

記

日時：平成28年11月14日（月）午後4時半～

会場：総合教育研究棟5階 国際島嶼教育研究センター会議室

* 国際島嶼教育研究センター奄美分室（奄美市水道課庁舎2階）でも視聴可能

講師：大脇哲洋（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）

演題：少子高齢化を見据えた地域医療実習

【要旨】

少子高齢化の日本は、これまで世界中で経験したことのない、人口減少社会へと突入している。確実に減る人口を前に、地方はどのような社会を構築し、維持していくのか？正解の見えない政策を展開しなければならない。それでは医療はどうなるのか。2025年に団塊の世代が後期高齢者となり、死亡数が増加する。老年医療が医療の主体となり、2040年頃には日本全体の医療はピークを迎える。その後、急激に変化し、縮小する医療環境に対応するために、医育機関としてどのような教育が必要で、どのような実習が求められるのかを考察する。

その上で、現在我々が行っている、医学科6年生全員への「離島・地域医療実習」、希望する全国の医学生に提供している「全国医学生夏期離島実習」、桜ヶ丘の医療系学生に提供している「地域医療トレーニングキャンプ in 北山」や「地域医療トレーニングキャンプ in さつま町」、地域枠医学生に必修としている「地域枠医学生離島実習」などを紹介する。

*** どなたでも参加できます ***

鹿児島大学 国際島嶼教育研究センター 奄美分室
奄美市名瀬柳町2番1号
TEL:0997-69-4852